# 江東区スポーツ推進計画

KOTO CITY
SPORT PROMOTION PLAN
2020-2024

令和2年度～令和6年度

概要版

【基本理念】

# スポーツが熱いまち 江東区

| 【基本目標】 | 【施策展開】 | 【主な取組の内容】 |
|---|---|---|
| **1 スポーツに親しむきっかけづくりの拡充** | 1-1 スポーツを気軽に楽しめる機会の創出 | ①こどものスポーツ推進<br>②働き盛り・子育て世代のスポーツ推進<br>③高齢者のスポーツ推進<br>④障害者のスポーツ推進 |
| | 1-2 スポーツを通した心身の健康づくり | ①気軽に取り組めるスポーツによる健康づくり<br>②スポーツを通したこどもの健全育成<br>③高齢者や障害者向けのスポーツによる健康づくり |
| | 1-3 東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシーの活用 | ①競技施設等との連携<br>②障害者のスポーツ環境の充実<br>③トップアスリートに触れる機会の充実 |
| **2 スポーツをより身近に感じられる環境の充実** | 2-1 「する」スポーツ環境の充実 | ①身近な場所でのスポーツ環境の整備<br>②ユニバーサルデザインを取り入れた施設の整備<br>③計画的な施設改修 |
| | 2-2 豊かな水辺を生かしたスポーツの推進 | ①水辺のスポーツに親しめる環境の整備<br>②競技施設を生かしたイベントの実施<br>③水辺のスポーツ大会等の実施<br>④水辺のスポーツ事業の展開 |
| | 2-3 効果的な情報発信 | ①多様な媒体を活用した情報発信<br>②身近な場所での情報発信 |
| **3 スポーツに関わる人材・組織の育成と連携・協働の取組の推進** | 3-1 スポーツを支える人材・組織の育成 | ①スポーツを支える人材の育成・確保<br>②スポーツを支える団体等への支援<br>③人材・団体等の表彰 |
| | 3-2 スポーツを支える人材・組織との連携・協働 | ①スポーツを支える人材・団体間の連携・協働<br>②地域貢献につながるスポーツ事業の実施 |
| | 3-3 トップスポーツチーム・トップアスリートとの連携強化 | ①スポーツへの関心喚起<br>②競技力向上の取組<br>③地域交流の促進 |
| **4 スポーツを通した地域コミュニティの活性化** | 4-1 スポーツを通した交流の促進 | ①スポーツを通した交流イベント等の開催<br>②障害者のスポーツ実施に対する理解促進 |
| | 4-2 地域・学校・事業者間の連携強化 | ①地域団体と連携したスポーツイベントの実施<br>②区内事業者との連携強化 |
| | 4-3 「みる」・「支える」スポーツ環境の充実 | ①スポーツを通した地域の活性化<br>②ボランティア活動の促進 |

## 基本理念

# スポーツが熱いまち　江東区

区民の誰もが、身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、
活気あふれる地域社会を実現します。

本区ではこれまで区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に「する」、「みる」、「支える」スポーツに親しめるよう環境整備に取り組んできました。こうしたスポーツ環境とともに東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用しながら伝統的に受け継がれてきた下町人情や発展を続ける臨海部など区の魅力・強みを生かし、今後の江東区のスポーツ施策を推進していきます。

## 数値目標

区民の誰もが継続してスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、本計画では数値目標を以下のとおり設定します。
成人の週1回以上のスポーツ実施率を、概ね5年間で65%程度（3人に2人）とすることを目指します。

### 週 1 回以上スポーツをする区民の割合

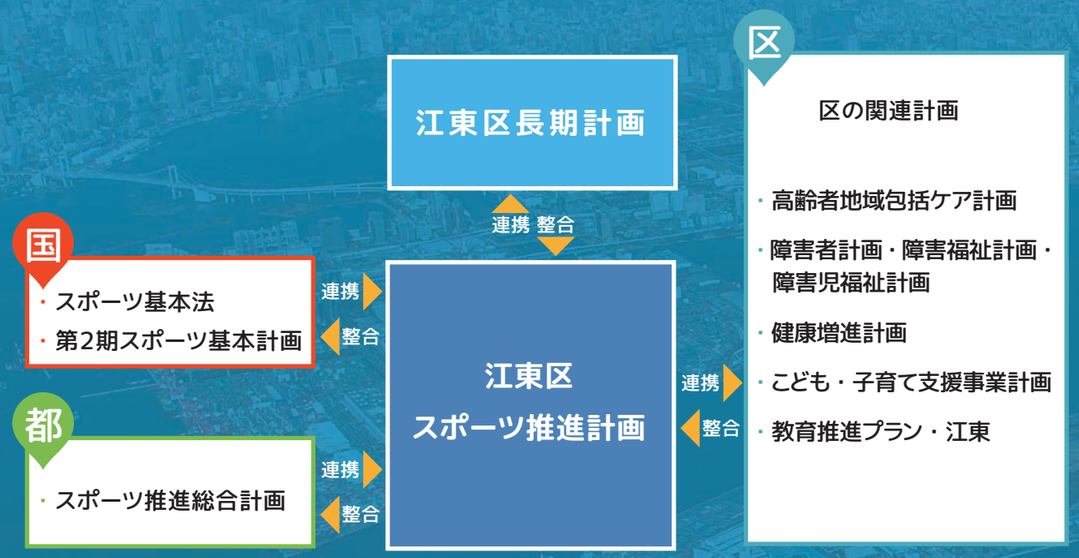
43.5%
（2019 年）

↗

**65.0%**
**（2024 年）**

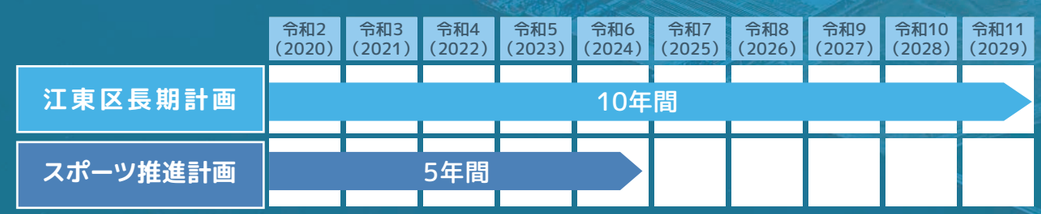
# 計画の位置づけ

スポーツ推進計画は、新たな長期計画の下、区の関連計画や国、都との整合を図った上で、区のスポーツに係る基本計画として策定します。




# 計画期間

本計画の計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間とします。



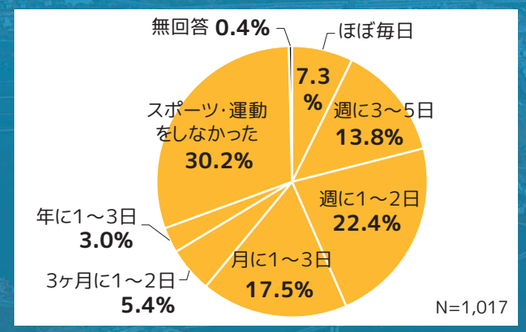

# スポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは、野球やサッカーなど一定のルールに基づいて勝敗や記録を競う競技スポーツだけでなく、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も今後は「スポーツ」として広く捉えることとします。

# 江東区民のスポーツに対する意識

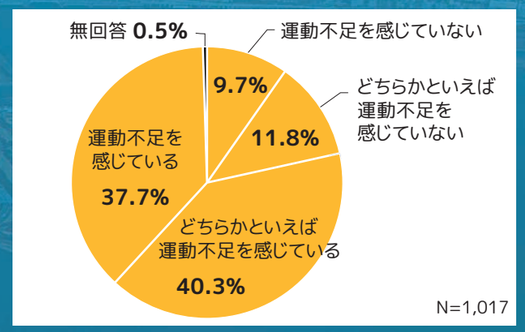
## スポーツの実施頻度

1週間のうち1日以上スポーツを実施している区民の割合は 43.5%となっています。



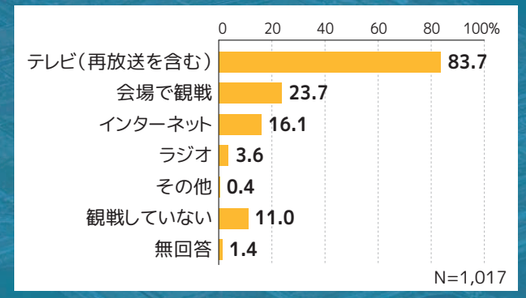

## 運動不足を感じているか

運動不足を感じているという区民の割合は 78.0%となっています。



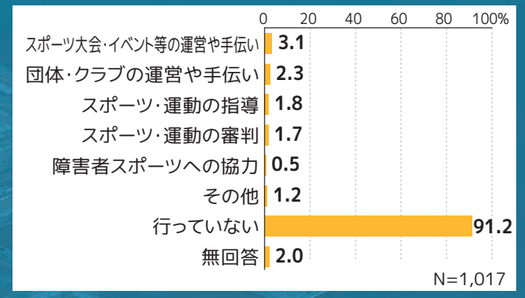

## スポーツの観戦経験

スポーツを会場で観戦した区民の割合は 23.7%となっています。



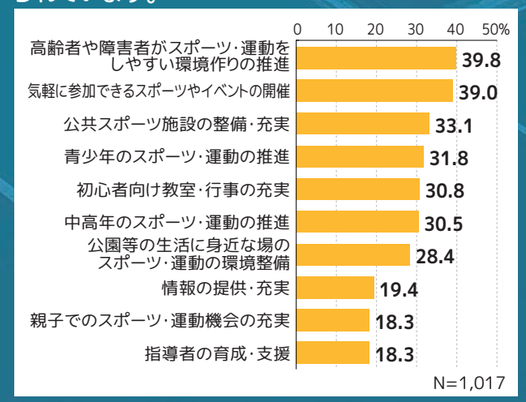

## ボランティアの実施状況

スポーツに関するボランティアを行っていない区民の割合は 91.2%となっています。



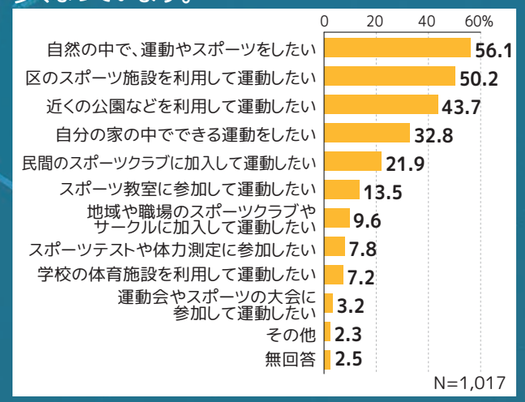

## 区にのぞむこと

年齢や障害の有無、スポーツ経験の有無に関わらず、気軽にスポーツができる環境づくりが求められています。




## 行ってみたいスポーツ

スポーツ施設のほか、自然の中や生活に身近な場所で運動やスポーツをしたいと回答した区民が多くなっています。




出典：スポーツ推進に関するアンケート調査（2019 年）

# 推進体制

## 1 区民

年齢や性別、障害の有無に関わらず、健康増進や体力向上に関心を持ち、「する」、「みる」、「支える」スポーツに主体的に親しむことが期待されます。また、スポーツを通して世代や地域、国籍を越えて交流していくことが期待されます。

## 2 江東区

区は本計画に掲げる実施施策の進捗管理を行い、本区におけるスポーツ振興の総合調整者として、関係団体等との連絡調整や、地域でスポーツを支える主体の育成や支援を行います。スポーツを支える様々な主体との役割分担のもと、区民スポーツ普及振興事業について、公益財団法人江東区健康スポーツ公社や江東区体育協会等の主体的な活動を促し、支援します。スポーツセンターをはじめ、区内のスポーツ施設の整備を行います。

## 3 公益財団法人江東区健康スポーツ公社

江東区における生涯スポーツの中核を担う団体として、本計画に沿った事業展開を行います。区民の健康と生きがいをつくるため、地域に根ざした事業展開を図ります。スポーツ行政の一翼を担う団体として、区とともに区民スポーツ普及振興事業を担います。

## 4 江東区体育協会

区や健康スポーツ公社等との連携・役割分担を踏まえ、今後の体育協会の事業展開を検討した上で、区民の生涯スポーツの発展に寄与する取組を行います。

> ー江東区体育協会ー
> 区民の体力の向上並びにレクリエーションの普及を図り、スポーツ精神を涵養し、併せて各団体相互の親睦を図ることを目的として設立し、スポーツの普及振興、競技力向上及びスポーツ指導者の育成活動をしています。現在、加盟は 31 団体。

## 5 江東区スポーツ推進委員会

行政と地域を結ぶスポーツのコーディネーターとして、区民まつりやファミリースポーツチャレンジ等の行事や委員会独自の事業において、区や健康スポーツ公社等と連携し、区民へのスポーツの指導・普及を行います。

> ー江東区スポーツ推進委員ー
> スポーツ基本法に基づき、区から委嘱を受けた非常勤公務員で、スポーツイベントの実施や区民に対するスポーツの実技指導をはじめ、スポーツの普及・振興に関する様々な活動を行っています。現在、52 名の方が活動しています。

## 6 総合型地域スポーツクラブ

地域に密着したスポーツクラブとして、年齢や性別、障害の有無に関わらず区民の誰もがいつでも、どこでも気軽に参加できるスポーツの機会を提供するとともに、スポーツを通じて地域の連帯感を醸成します。

> ー総合型地域スポーツクラブー
> 地域において、こどもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できる、総合的なスポーツクラブ。スポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開しています。現在、区内では「NPO 法人ななすぽ」「東陽・木場地域スポーツクラブ」が活動しています。

KOTO City in TOKYO
スポーツと人情が熱いまち 江東区

江東区スポーツ推進計画（令和2年度～令和6年度）

編集発行　江東区地域振興部スポーツ振興課
〒135-8383　東京都江東区東陽4−11−28
電話：03−3647−4887　FAX：03−3647−8506
江東区のホームページ：https://www.city.koto.lg.jp/